

2024沖縄伝統古武道世界大会開催要項

1. 大会趣旨
 - 1) 県内外及び世界各国で沖縄伝統古武道を愛好する仲間たちと交流し、情報交換する。
 - 2) 沖縄伝統古武道を正しく継承し、普及、発展に努める。
2. 主催 沖縄県古武道連盟
3. 後援
 - 1) 行政…沖縄県、豊見城市
 - 2) 新聞社…琉球新報、沖縄タイムス
 - 3) 放送局…NHK沖縄放送局、沖縄テレビ、琉球放送、琉球朝日放送
 - 4) その他…一般社団法人沖縄伝統空手道振興会、守礼堂
4. 協力 沖縄空手案内センター
5. 開催日 2024年 8月 3日(土) ~ 4日(日)
6. 日程
 - 1) 2日(金) : 選手登録 … 17:30~20:00
: 監督審判会議・海外審判講習会 … 19:00~21:00
: 会場設営 … 17:00~21:00
 - 2) 3日(土) : 開会式 … 9:30~10:00
: 競技大会1日目 … 10:00~16:00
: 模範演武 … 12:00~13:30
 - 3) 4日(日) : 競技大会2日目 … 10:00~12:00
: セミナー … 13:00~16:00
: さよならパーティー … 19:00~21:00
7. 開催会場 沖縄空手会館 (沖縄県豊見城市豊見城 854-1)
8. 大会名称 2024沖縄伝統古武道世界大会
9. 事業内容
 - 1) 開会式、表彰、閉会式、セミナー、演武…沖縄県古武道連盟独自の内容とする。
 - 2) 競技大会
 - ①型競技は先達から継承され体系化された沖縄伝統古武道の型競技とする。
 - ②棒対棒組手試合は、安全を最優先に考慮し、沖縄県古武道連盟指定の用具を使用する。
10. 宿泊、輸送
 - 1) 県外、海外から参加する選手、監督及び同伴者の宿泊所の手配については、各会派で対応する。
 - 2) 県外、海外参加者の来県時、帰路及び大会会場までの輸送については、自由集合・自由解散とし、それぞれに要する経費は参加者の負担とする。
11. 推進体制 大会の準備及び運営にあたっては、大会実行委員会を設置し、業務を遂行する。
12. 附則 この要綱に定めるもののほか、大会運営に関する必要な事項は実行委員会が別に定める。

※ 決定事項

- 参加資格 : 沖縄県古武道連盟の加盟会派に属する団体
- 申込方法 : 各会派本部へ申込用紙(Excel形式)を送付済みです。
各会派本部の世話係の方へ連絡し、お申込み下さい。
- 申込期間 : 2024年4月1日(月) ~ 5月15日(水)
- 参加料 : 型競技及び組手競技共に 3,500円(プログラム代含む)
型競技及び組手競技の両方に参加する場合 6,500円
- セミナー料 : 1人 5,000円
- さよならパーティー会費 : 12歳以下 2,000円、 13歳以上18歳以下 3,000円、
19歳以上 7,000円
- 競技種別 : 棒、釵のいずれも男女別個人戦とする。ただし、棒、釵の両方の競技には参加できない。

◇型競技

- | | | | | | |
|---------|----|-----|---|----|---|
| ①ジュニアⅠ… | 10 | 歳 | ～ | 11 | 歳 |
| ②ジュニアⅡ… | 12 | 歳 | ～ | 14 | 歳 |
| ③少年… | 15 | 歳 | ～ | 18 | 歳 |
| ④成年… | 19 | 歳 | ～ | 39 | 歳 |
| ⑤壮年… | 40 | 歳 | ～ | 59 | 歳 |
| ⑥シニア… | 60 | 歳以上 | | | |

◇組手試合

19歳以上の男子とする。

※年齢は2024年4月1日を基準とする。

- 参加料、セミナー料、さよならパーティー会費の振込先について :

参加料、セミナー料、さよならパーティー会費の振込は下記の銀行口座へ振込んで下さい。尚、恐れいりますが、振込手数料は支払者様のご負担でお願いします。

琉球銀行 首里支店 (店番号 313) 普通預金 口座番号 0639232
口座名義 「沖縄県古武道連盟」 会長 島袋 常雄

沖縄県古武道連盟「型」・「組手」競技規定[改訂]

(2024年3月24日)

I 型競技

第1条 競技場

競技場は、平坦な安定した一辺が8mの正方形とする。

第2条 服装等

審判員、監督、演武者の服装は次の通りとする。

<審判員>

- (1) 黒・紺系のブレザー
- (2) 白色半袖のシャツ
- (3) 灰色のズボン
- (4) 沖縄県古武道連盟指定のネクタイ
- (5) 黒色の体育館専用靴
- (6) 指示用のベルを所持する

<監督>

- (1) 上下「白色」の空手着とする。但し、現在使用しているカラーを認める。
- (2) 女子の場合は、空手着の下から同色無地のインナーを着用する。男子は禁ずる。
- (3) 当連盟指定のネームホルダーを着用する。
- (4) 競技者の監督は、選手後方に設けた所定の席に着くものとする。但し競技者に監督を付けるか否かは、各会派に一任する。

<選手>

- (1) 上下「白色」の空手着とする。但し、現在使用しているカラーを認める。

※空手着の氏名、会派名、会派の会章(エンブレム)等の刺繍については、片胸、片方の肩の位置にあるものは不問とするが、背中にある場合や両胸・両肩にある場合、着用を禁ずる。

- (2) 女子の場合は、空手着の下から同色無地のインナーを着用する。男子は禁ずる。
- (3) 空手着の袖、裾をまくり上げを禁ずる。
- (4) 空手着の袖の長さは手首と肘の間とし、裾の長さは足首と膝の間とする。
- (5) 型競技においてはメガネ着用を認める。
- (6) アクセサリー等の着用は禁止する。
- (7) 大会事務局より配布されるネームホルダーを大会期間中、所持する。

第3条 競技種目及び年齢区分

- (1) 型競技の種別は棒・サイとする。
- (2) ジュニアⅠ、ジュニアⅡ、少年、成年、壮年、シニアとも男女別個人戦とする。
- (3) 年齢区分は、2024年4月1日付けを基準とし、次のとおりとする。

- | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|---|
| ①ジュニアⅠ・・・10～11歳 | ②ジュニアⅡ・・・12～14歳 | ③少年・・・・・・15～18歳 | と |
| ④成年・・・・・・19～39歳 | ⑤壮年・・・・・・40～59歳 | ⑥シニア・・・・・・60歳以上 | |

第4条 型競技の基準

(1) 棒の型及び釵(サイ)の型競技の方法は採点競技とする。

(2) 武具の重量、長さ

① 棒 (ア) 長さ: 男女ともに180cm以上、又は、身長+10cm以上

(イ) 重量: 男子900g以上(少年男子含む)、ジュニアⅡ男子は800g以上、ジュニアⅡ女子は750g以上
ジュニアⅠ男子及び女子の棒の重量については、問わないが、棒の中心の直径が24mm以上
であること

(ウ) 形状 = 丸棒

(エ) 材質 = 樫、ビワ、ヒッコリー(くるみ)

② 釵 (ア) 長さ: 肘より長い物

(イ) 重量: 男子は650g以上(少年男子含む)、ジュニアⅡ男子は550g以上(1本)、
女子は550g以上(少年女子含む)、ジュニアⅡ女子は500g以上(1本)、
ジュニアⅠ男子及び女子は450g以上(1本)

(ウ) 形状 = 沖縄伝統サイの形状

③ 釵(サイ)の型の競技中、釵(サイ)を型の所作として床に置く行為は認めるが、投げたり、床に突き刺す
などの行為を禁ずる。

④ 型競技は沖縄伝統古武道の型として伝承されてきた第5条で指定する当連盟が公認する伝統の型
の中から選択する。

第5条 型の種目

型競技にて演武する型は沖縄県古武道連盟が公認する伝統の型(別表Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)の中から選択する。

別表Ⅰ 棒の型

NO	型の名称	NO	型の名称	NO	型の名称
1	徳嶺の棍	10	米川の棍(与根川)	19	津堅大棍
2	佐久川の棍	11	北谷屋良の棍	20	津堅棒
3	佐久川の棍(小)	12	知念志喜屋仲の棍	21	朝雲の棍
4	佐久川の棍(大)	13	瀬底の棍	22	趙雲の棍
5	周氏の棍	14	添石の棍	23	大屯棒
6	周氏の棍(小)	15	白樽の棍	24	末吉の棍
7	周氏の棍(大)	16	祝嶺の棍	25	合戦棒
8	白松の棍	17	大城の棍	26	公望の棍
9	浦添の棍	18	津堅の棍	27	カーティンの棍

別表Ⅱ 棒の型(ジュニアⅠ・Ⅱの使用可能な型)(ジュニアⅠ・Ⅱに関しては同じ型を繰り返して演武
しても良い)

NO	型の名称	NO	型の名称	NO	型の名称
1	佐久川の棍(小)	3	周氏の棍(小)	5	朝雲の棍
2	周氏の棍	4	大城の棍	6	合戦棒

別表Ⅲ 釵(サイ)の型

NO	型の名称	NO	型の名称	NO	型の名称
1	北谷屋良のサイ	5	湖城のサイ	9	二丁サイ
2	浜比嘉のサイ	6	屋嘉のサイ	10	千原のサイ
3	津堅志多伯のサイ	7	多和田のサイ	11	慈元のサイ
4	繁多川幸良小のサイ	8	石川小のサイ	12	三丁サイ

別表Ⅳ 釵(サイ)の型(ジュニアⅠ・Ⅱの使用可能な型)(ジュニアⅠ・Ⅱに関しては同じ型を繰り返して演武しても良い)

NO	型の名称	NO	型の名称	NO	型の名称
1	津堅志多伯のサイ	3	二丁サイ	5	三丁サイ
2	北谷屋良のサイ	4	千原のサイ		

第6条 審判団の構成

- (1) 審判団の構成は、1コートにつき監査1人、主審1人、副審は2人または4人とする。
- (2) 審判の位置は、審判が5人の場合にはコート前方の中央に1人、他4人はコートの四つ角に配置する。
また、審判が3名の場合にはコート前方の中央に1人、他2人はコート後方の角に配置する。

第7条 競技委員の構成

- (1) 競技委員の構成は、1コートにつき監査、選手係、得点表示係、コール係、計算係、記録係を配置する。
- (2) 選手は、型名等が記載されているネームホルダーを所持しているため、監査及び選手係は演武前にネームホルダーを確認する。

第8条 演武開始及び終了

- (1) 競技開始時は、コート外の所定の位置で一礼をし、コート内に進み、競技位置にて「礼」をし、型名を呼称し演武を開始する。
- (2) 競技終了の方法はコート内での演武が終了したら「礼」をして、コート外の所定の位置で待機し、得点を待つこととする。
- (3) 主審、副審、選手は、競技終了後コート外の所定の位置に整列、「礼」をして終了する。

第9条 採点

- (1) 採点の表示方法と加算方法は次の通りとする。
 - ① 審判団は採点表示を行うとき、表示板を主審の合図にて右手で前方45度上に真直ぐに伸ばして行う。
 - ② 得点の加算方法は、最高採点と最低採点は削除される。
 - ③ 同点引き分けが生じた時は、②で削除された最低採点を加算し判定する。それでも同点の時は、②で削除された最高採点を加算し判定するが、なお同点の時には、別の型を演武して判定する。
- ※再演武に関して、ジュニアⅠ・Ⅱは同じ型でも可とする。少年以上の場合には別の型を演武する。尚、同点となった場合には、審判団の判定で勝敗を決する。

④予選の同点再競技の型は決勝でも使用可能である。また決勝の同点再競技時も予選時の型は使用可能である。

⑤再競技者の競技順は、選手番号の若い順で行う。

(2)採点には、採点板(表示板)を使用する。

(3)競技中の負傷については審判長において競技の続行について判断する。

第10条 判定の基準

評価は10点満点とし減点方法を用いて行う、型の評価基準は次の通りとする。

(1) 審判基準

- ①沖縄伝統古武道の特色
- ②型の動き、順序、技の正確性
- ③型の理解度
- ④適度な緩急
- ⑤呼吸法、力、スピード、タイミング、バランス、極め
- ⑥運足の一貫性と正確さ
- ⑦基本動作(姿勢、立ち方、礼儀等)

(2) 採点の基準

- ①予選(7,00~9,00)
- ②決勝(8,00~9,00)

※少数点以下第2位は0,05のみの使用であり0,01~0,04及び0,06~0,09は発生しない。

(3) 失格

- ①指定以外の空手着を着用したとき。
- ②型の演武を途中放棄したとき。
- ③当連盟公認型を基だしく改造したとき。
- ④型名を呼称しないで競技したとき。
- ⑤申告した型以外の型を競技したとき。
- ⑥審判員の指示に従わないとき。
- ⑦禁止事項を行ったとき。
- ⑧武具を落としたとき。
- ⑨武具の破損
- ⑩メガネが落下した場合。
- ⑪帯が落下した場合。
- ⑫不正行為が発覚した場合、本大会の全ての資格を失い次回の大会は出場停止とする。

※失格の場合は点数をあたえない(主審はベルを3回鳴らし止める。選手を所定の位置に戻し、主審は中央線まで進み、軽く指を差し失格と発して選手を退場させる。)

(4)減点(0、1 ~ 0、5)

- ①競技者がコート外に出た場合。
- ②明らかに型を忘れたと思われる状態のとき。
- ③武具が手から離れたとき。
- ④打ち、突き、貫き、受けの際、上段、中段、下段の区別がはっきりしないとき。
- ⑤着眼、気合い、気迫等不十分なとき。
- ⑥武具の握りが不十分、又は不適切なとき。
- ⑦武具が床に触れたとき。(構え時も同様)
- ⑧明らかにオーバーアクションと思われたとき。(誇張動作)
- ⑨競技開始と終了の「礼」を忘れた時(0.05減点)
- ⑩帯がほどけた時。

第11条 監督

監督は、監督証を身に付け演技終了まで、所定の位置に就き当該選手の管理を行う。

第12条 異議申し立て及びその処理

- (1)当該選手の監督は、判定の直後、監査に対して所定の位置から異議を申し出ることが出来る。
但し、勝敗及び勝敗に不随することに関しては異議を申し立てる事ができない。
- (2)当該選手の監督は、判定の直後、その判定が競技規定に抵触すると思われる場合のみ、監査に対して異議を申し立てることが出来る。その場合、監査は主審と確認の上、副審の招集を行い合議の上、判断を下す。尚、判断が困難の場合は、監査長、審判長の判断を仰ぎ判断を下す。

Ⅱ 棒組手試合

第1条 競技場

- (1)競技場は、平坦な安定した一辺が8mの正方形とする。
- (2)棒組手試合のコート内の競技者及び主審の定位置はコート中央から各2mとする。

第2条 服装等

審判員、監督、競技者の服装は次の通りとする。

<審判員>

- (1)黒・紺系のブレザー
- (2)白色半袖のシャツ
- (3)灰色のズボン
- (4)沖縄県古武道連盟指定のネクタイ
- (5)黒色の体育館専用靴

<監督>

- (1)上下「白色」の空手着とする。但し、現在使用しているカラーを認める。

- (2) 女子の場合は、空手着の下から同色無地のインナーを着用する。男子は禁ずる。
- (3) 当連盟指定の腕章又はネームプレートを着用する。
- (4) 選手の監督は、選手後方に設けた所定の席に着くものとする。但し演武者に監督を付けるか否かは、各会派に一任する。

＜選手＞

- (1) 上下「白色」の空手着とする。但し、現在使用しているカラーを認める。
- (2) 空手着の袖、裾をまくり上げることが禁ずる。
- (3) 空手着の袖の長さは手首と肘の間とし、裾の長さは足首と膝の間とする。
- (4) 棒組手試合はメガネの着用を認めない。但し、コンタクトレンズの使用は本人の責任において使用を認める。
- (5) アクセサリー等の着用は禁止する。

第3条 試合種目及び年齢区分

- (1) 試合は棒対棒による組手試合とする。
- (2) 選手資格は、2024年4月1日時点で、19歳以上の男子とする。

第4条 審判団の構成

審判団の構成は監査1人、主審1人、副審は、予選、決勝共に1コートにつき4人とする。

第5条 競技委員の構成

競技委員の構成は、1コートにつき監査、コール係、得点計算係、記録係を配置する。

第6条 試合の方法は次の通りとする。

- (1) 競技時間は、2分間とする。また再試合も同じとする。
- (2) 勝敗は、1本先取り勝負とする。また再試合も同じとする。本戦でも勝敗を決しない場合は再試合とする。
- (3) 防具を着用すること。(連盟指定の面、胴、小手、脛当)
- (4) 使用する棒は、当連盟で準備されたもの。

第7条 競技者

- (1) コート外の所定の位置にて「礼」をし、主審の合図で競技開始線に就き、主審の「構えて」の合図で、決められた構えに入り、主審の「勝負はじめ」の合図で競技を開始する。
- (2) 主審の「止め」の合図で、競技を止め、競技開始線に戻り主審の指示を待つ。

第8条 監督

選手の監督は、選手後方に設けた所定の席に着くものとする。但し選手に監督を付けるか否かは、各会派に一任する。

第9条 審判員

- (1) 着席までは、型競技と同様の方法で行う。
- (2) 主審は、両腕(手刀)を前方45度の方向に水平に伸ばし、コート外に待機している競技者を競技開始線の位置に就かす。
- (3) 主審は、気を付けの姿勢になり、「構えて」の宣告をし、競技者の構えが確認出来たら「勝負初め」を宣告する。
- (4) 主審は、競技を止めるときは、「止め」を宣告し、競技者を元の位置に就かす。
- (5) 主審は、再度、競技を続けさせる場合は、気を付けの姿勢から、左足又は右足を後方に引いた姿勢で「続けてはじめ」の宣告をし、競技を再開する。
- (6) 主審・副審は、全試合が終了したら、型競技と同じ方法で終了する。
- (7) 主審は、本戦の時間内に勝敗が決しない場合は、「引き分け」を宣告し、「先取り1本」の再試合を告げ、(3)と同じ方法で試合を開始する。尚、再試合でも勝敗が決しない場合は、所定の位置に就き、「判定」と宣告し、副審に判定を促す。判定が出たら主審が確認後、副審は降旗する。
- (8) 審判の動作は、別紙「主審表示法」に準ずる。

第10条 判定方法(棒の有効部位:棒の両先から30センチの範囲とする)

- (1) 1本技
 - ① 突き、打ち、で倒したとき、又は、相手が棒を落としたとき。
 - ② 突き、打ちで、よろめかしたとき。
 - ③ 打ちで相手の頭部が揺れたとき。
 - ④ 突き、打ちが中段に決まったとき。
 - ⑤ 倒れた相手に対しての有効部位への攻撃は認める。
 - ⑥ 後方からの攻撃で、攻防からの瞬間攻撃は、有効とみなす。(寸止め)
- (2) 技有り
 - ① 上記1本技が、1本の技に該当しないとき。
 - ② 足への有効打
- (3) 競技中の負傷については審判長において競技の続行について判断する。

第11条 勝敗

- (1) 1本先取り
- (2) 技有り2本で1本
- (3) ペナルティー3回(反則負け)
 - ① 防具外の攻撃、危険行為等(第12条参照)
 - ② 場外
 - ③ 無防備

ア 反則は、「忠告→警告→反則」の順に与え、反則で相手に1本勝ちとする。

イ 反則の程度によって「警告」もしくは「反則」とする。

ウ 禁止事項及び禁止技の行為は、審判団の協議により「忠告」「警告」「反則」となる。

エ 本戦の2分間が終了した時点で片方にのみ有効打が入っている場合は引き分け再試合する。但し、再試合でも決しない場合は旗判定となり、審判は紅白いずれかの旗を揚げなければならない。

オ ポイントは副審2人以上が有効打と判定すれば成立する。

カ 試合中、中断の後再開する場合、選手は、主審の「構えて」の号令に呼応して棒を構える。続いての「続けてはじめ」の合図で試合を再開する。

第12条 禁止事項及び禁止技

- (1) 顔面への突き、または威嚇等
- (2) 胸部への攻撃
- (3) 振り回し
- (4) 後方からの攻撃。
- (5) 棒から手を離し相手を手で突く、打つ、押す、掴む、引っ張る等の行為。頭突き、蹴り。
- (6) 防具範囲以外への攻撃及び足の甲への攻撃
- (7) 頭部側面への攻撃、または威嚇等
- (8) 手の内側及び指の部位への攻撃
- (9) 片手から棒が外れた状態での相手への攻撃
- (10) 相手を棒で押し「場外」を計る行為
- (11) その他、審判団申し合わせ事項。
- (12) その他、想定外の危険技と認められる場合は、審判団で協議して判断する。

第13条 異議の申し立て及びその処理

- (1) 当該選手の監督は、判定の直後、監査に対して所定の位置から異議を申し出ることが出来る。
但し、勝敗及び勝敗に不随することに関しては異議を申し立てる事ができない。
- (2) 当該選手の監督は、判決の直後、その判決が競技規定に抵触すると思われる場合のみ、監査に対して異議を申し立てることが出来る。その場合、監査は主審と確認の上、副審の招集を行い合議の上、判断を下す。尚、判断が困難の場合は、監査長、審判長の判断を仰ぎ判断を下す。

第14条 監査

監査は、各コートにおいて競技が大会規定通りに行われているかを監査し、大会規定に抵触時は競技の中断を命じ主審及び副審との協議及び再度の評決判定を勧告する。

また、監査は登録された監督からの異議申し立てに対して、第13条に沿って処理する。

2024沖縄伝統古武道世界大会 申込用紙
Application Form for 2024 Okinawa Traditional Kobudo World Tournament

所属流派名 Name of Style : _____ 所属道場名 Dojo name : _____ 住所 address : _____ 連絡先 contact information : _____ TEL : _____ E-mail : _____	会派長名 Name of Head of Style : _____ 所属道場主名 Name of Dojo Head : _____ _____ _____
---	--

棒の部 Bo Kata Division

ジュニアⅠ Junior I Over 10 years old and under 11 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

ジュニアⅡ Junior II Over 12 years old and under 14 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

少年 Over 15 years old and under 18 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

成年 Adult I Over 19 years old and under 39 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

壮年 Adult II Over 40 years old and under 59 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

シニア Senior Over 60 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

※ If non-Japanese, please use full name as written on your passport.
 ※ Please print, no handwriting allowed.

※報告期限 2024年4月30日(火)※変更等の期限 5月15日(水)

2024沖縄伝統古武道世界大会 申込用紙
Application Form for 2024 Okinawa Traditional Kobudo World Tournament

所属流派名 Name of Style	:	会派長名 Name of Head of Style	:
所属道場名 Dojo name	:	所属道場主名 Name of Dojo Head	:
連絡先 contact information	住所 address	:	:
	TEL	:	:
	E-mail	:	:

棒組手の部 **Bo Kumite Division**

一般 Adult 1 Over 19 years old

No.	氏名 Competitor Name	歳 Age
1		
2		
3		
4		
5		

※ If non-Japanese, please use full name as written on your passport.
※ Please print, no handwriting allowed.

※報告期限 2024年4月30日(火)※変更等の期限 5月15日(水)

2024沖縄伝統古武道世界大会 申込用紙
Application Form for 2024 Okinawa Traditional Kobudo World Tournament

所属流派名 Name of Style : _____ 所属道場名 Dojo name : _____ 住所 address : _____ 連絡先 contact information : _____ TEL : _____ E-mail : _____	会派長名 Name of Head of Style : _____ 所属道場主名 Name of Dojo Head : _____ _____ _____ _____
サイの部 Sai Kata Divison	

ジュニア I Junior I Over 10 years old and under 11 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

ジュニア II Junior II Over 12 years old and under 14 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

少年 Over 15 years old and under 18 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

成年 Adult I Over 19 years old and under 39 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 Sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

壮年 Adult II Over 40 years old and under 59 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

シニア Senior Over 60 years old

No.	氏名 Competitor Name	性別 sex	型名 Kata name
1			
2			
3			
4			
5			

※ If non-Japanese, please use full name as written on your passport.
 ※ Please print, no handwriting allowed.

※報告期限 2024年4月30日(火)※変更等の期限 5月15日(水)

2024沖縄伝統古武道世界大会 申込用紙
Application Form for 2024 Okinawa Traditional Kobudo World Tournament

所属流派名 Name of Style : _____ 所属道場名 Dojo name : _____ 住所 address : _____ 連絡先 contact information : _____ TEL : _____ E-mail : _____	会派長名 Name of Head of Style : _____ 所属道場主名 Name of Dojo Head : _____ _____ _____ _____
---	---

審判員 Judges

No.	氏名 Judge Name
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

補助員 Assistants

No.	氏名 Competitor Name
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	

※ If non-Japanese, please use full name as written on your passport.

※ Please print, no handwriting allowed.

※ 報告期限 2024年4月30日(火)

2024沖縄伝統古武道世界大会 申込用紙
Application Form for 2024 Okinawa Traditional Kobudo World Tournament

所属流派名 Name of Style : _____	会派長名 Name of Head of Style : _____
所属道場名 Dojo name : _____	所属道場主名 Name of Dojo Head : _____
住所 address : _____	
連絡先 contact information :	TEL : _____
	E-mail : _____

セミナー参加者 Seminar participants		パーティー参加者 Partygoers		
No.	氏名 Name	No.	氏名 Name	歳 Age
1		1		
2		2		
3		3		
4		4		
5		5		
6		6		
7		7		
8		8		
9		9		
10		10		
11		11		
12		12		
13		13		
14		14		
15		15		

※ If non-Japanese, please use full name as written on your passport.

※ Please print, no handwriting allowed.

※ 申込期限 2024年5月15日(水)

令和6年4月 吉日

様

沖縄県古武道連盟
会長 島袋 常雄



広告依頼状

時下、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

この度、当連盟主催による2024沖縄伝統古武道世界大会を開催する運びとなりました。当連盟は2004年12月19日に県内外で活動している沖縄伝統古武道関係会派が集まり結成された組織です。世界大会は広く県内はもとより国内、海外に伝統古武道を発信し伝統古武道の普及、振興を図ると共に正しい後継者育成を目的とした大会です。

本大会を開催するに当たり、皆様には出費多端の折り、誠に恐縮でございますが、本大会の趣旨をご理解頂き、本大会プログラムへの貴社（店）の広告掲載を是非ともお願い申し上げます。

- (1) プログラム規格A4版（白黒） 50ページ
- (2) 発行部数 300冊

※広告規格及び広告料金は別紙ご参照下さい。

2024 沖縄伝統古武道世界大会

日時：2024年8月3日（土）・4日（日）
場所：沖縄県空手会館

セミナー

日時：2024年8月4日（日）午後1時～午後4時
場所：沖縄県空手会館

※ お問い合わせ先及び広告原稿提出先

各会派世話係： 連絡先：
E-mail：

※振込先口座情報

琉球銀行 首里支店（店番号313） 普通預金 口座番号0639232
口座名義「沖縄県古武道連盟 会長 島袋常雄」
（恐れいりますが、振込手数料は支払者様のご負担となります）

沖縄県古武道連盟主催
2024 沖縄伝統古武道世界大会

広告掲載申込書

沖縄県古武道連盟主催 2024 沖縄伝統古武道世界大会プログラムへの広告掲載を申し込みます。

令和6年 月 日

会社又は店名：

所在地〒

電話：

代表者氏名

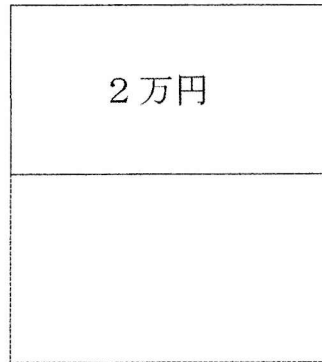
ご希望の広告記事のサイズ（A・B・C・D・E・F・G）

※下記の図を参考にA～Gに○をつけて下さい。

D（1ページ）



B（1/2ページ）



A（1/4ページ） 1万円
C（3/4ページ） 3万円

	規格	広告料
A	1/4 面	10,000円
B	1/2 面	20,000円
C	3/4 面	30,000円
D	1 面	40,000円
F	表表紙裏	45,000円
G	裏表紙裏	45,000円

※1社、1ページ

※1社、1ページ

- ※ 原稿締切り・・・・・・令和6年 5月31日（金）
- ※ 広告は、全て白黒での印字となります。
- ※ 表表紙裏面と裏表紙裏面はそれぞれ1社のみ掲載となります。また、掲載の希望が複数の場合、大会事務局による抽選で決定致します。